

(21) 湿潤状態を保つ期間は適切であるか

コンクリートの力学的性能や耐久性など、コンクリートの品質を高めるためには、できるだけ長い期間、湿潤状態を保つのが良いです。これは十分な水分を供給し、コンクリートを十分硬化させることと、硬化中の乾燥による収縮をできるだけ小さくするためです。

しかし、長期湿潤養生することは、一般の構造物においては困難であり、不経済になります。また、湿潤養生効果の大部分は初期の養生期に限られています。そこで、養生温度によって養生効果は異なりますが、標準的な湿潤養生日数を、セメントに応じて次のように定めています。

養生期間の標準

日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	早強ポルトランドセメント
15℃以上	5日	7日	3日
10℃以上	7日	9日	4日
5℃以上	9日	12日	5日

